

平成22年3月20日

編集 岩国市文化協会  
発行

〒740-8585

岩国市今津町1-14-51

岩国市教育委員会

生涯学習課内

印刷 (有) 国際総合

# 岩国文化



四季折々に巡り合った花たち！ その時々の思い出がフレームの中に込められています。  
春夏秋冬の花物語、風の色までも思い出されます。今もその場に立っているかのように…  
(WPF押花 花遊会)

## 【主な内容】

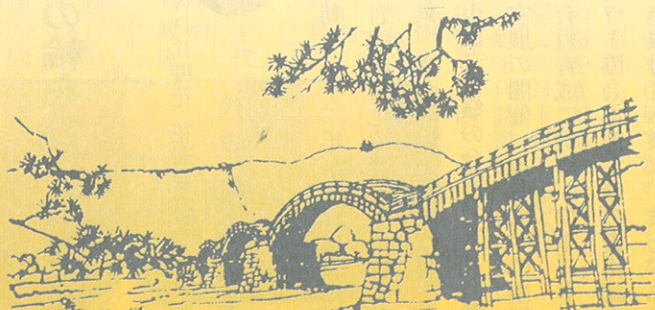
文化協会活動紹介

市民文化祭特集

文化功労賞等表彰

加盟団体紹介

行事報告





## 文化協会活動紹介

### ■『第三回山口県総合芸術文化祭 メインフェスティバル』

十一月一日、シンフォニア岩国で『第三回山口県総合芸術文化祭メインフェスティバル』が開催されました。

県内から集まった約五百人による合唱、邦楽、吹奏楽、神楽による華やかなステージとなりました。

文化協会からは、合唱、邦楽の皆さんが多数出演されました。



第3回山口県総合芸術文化祭メインフェスティバル

### ■岩国市文化協会地区公演事業 『本郷公演』

地域における文化の振興と発展を目指して、十二月十三日、本郷公民館で、地区公演事業が開催されました。岩国市文化協会からは、洋舞の二団体が出演されました。



岩国ジャズダンス同好会



岩国ソシアルダンス研究会

### ■『入門セミナー』会員募集のPR活動

会員増強のため、新聞折り込みの情報紙一面に、『初心者入門セミナー』のお知らせを掲載し、市内六万世帯に会員募集のPRをおこないました。

### ■『春の総合文化フェスティバル』

五月三十日、三十一日の二日間、シンフォニア岩国で、『春の総合文化フェスティバル』が開催されました。

マンドリンや大正琴の演奏、ピアノとマリリンバのコンサートなどが行われ、多くの聴衆を魅了しました。

合同展示会では、絵画、書道、華道、盆栽、クラフトなど、多彩な作品が来場者の目を楽しませました。また、お茶席も設けられ、優美なお点前を披露しました。



大正琴の演奏

### 「押し花を通して 交流の輪をひろげたい」



WPF 押花 花遊会(はなのかい)  
代表 村本敏子

押し花活動も二十二年が過ぎました。

平成九年に岩国市文化協会・クラフト部門に入会以来、主な活動としては月一回の研修会、市民文化祭の合同クラフト展、三年毎の教室展の開催、市美展への出展などです。会員育成に努め、ワールド・プレスフラワー協会本部主催の資格認定試験での師範取得者も増え、また本部発行の「押花年鑑作品集」にも会員多数が出品しています。

現在では芸術押花部門のみならず立体フラワー部門、押花・園芸福祉部門にも会全体で挑戦。デイケアセンターなどへの訪問も重ねています。全国高校生押花コンテストへの参加も回を重ね、花を通して交流を深めています。

今後は、創作、展示などの活動を通じて、出会った方々と創り出す喜びを分かち合えるような地域密着型活動の輪を広げていきたいと願っています。



# 第53回 岩国市民文化祭

## 合唱

平成十五年、合唱部門は岩国市民文化祭に参加することになり、コーラスフェスティバル03を開催しました。文化協会加盟団体を中心に、市内で活動しているコーラスグループの協力も得て九団体に実現しました。

翌年は中学校の参加もあり、十四団体に増え、各団体が趣向を凝らしバラエティーに富んだ演奏を楽しむことができました。同十八年に開催された「国民文化祭・合唱の祭典」がシンフォニア岩国で行われ、児童、生徒の合唱も、男声、女声、混声合唱も一層機運が高まりました。

また、その年には市町村合併で、新しく岩国市となった由宇町、美和町からの参加もあり、交流の輪は益々の広がりを見せています。

コーラスフェスティバルが市民のみなさんに合唱の楽しさを知っていただく場になることを願っています。

(館 澄子 記)



## 邦楽

第三十二回市民邦楽演奏会を無事終え、会員一同一息ついていきます。お陰様で、会員数は右肩上がりの傾向であり、喜ばしく思います。

しかし、尺八の新会員はなかなか期待できず、高齢による現役の退会等、会員減少の傾向にあります。これは全国的傾向でもあります。一名でも吹奏者の増加を計り、将来とも三曲合奏を続けたいものです。

また、箏の方は若年層の増加は見られるものの、ときに進学等の関係で中断を余儀なくされる場合もあります。

今回の発表曲それぞれは、小じんまりとしたまとまりを見せ、無事終了しました。

子供の指導は大切ですが、大人の演奏がおろそかになってはいけません。技術の向上など今後の問題は山積しています。

(宮本歌千穂 記)



## 茶道

第五十三回岩国市民文化祭合同茶会が、平成二十一年九月十一日から十四日までシンフォニア岩国で開催されました。昨年は山口県いけばな展が、岩国の担当であり、県下各地区から沢山の方々に越えただきました。

四日間のお茶席も設けられ、茶道連盟の各流派が当番でお釜をかけ、連日盛会で、県下の出瓶者の方々、地元出瓶者、関係者の方々、一般の方々と延べ一千名近くがご来場されたという盛況ぶりでした。

どなたにでも気軽にお茶を召し上がっていただけるように立礼席としました。その甲斐もあり、お子様達の姿も見受けられました。平成二十二年の文化祭は市民会館で開催される予定ですが、昨年同様に、盛会となりますことを切に願っております。

(江村恒子 記)



## 華道

第五十三回岩国市民文化祭諸流いけばな・盤景展、合同茶会と、第三回山口県総合芸術文化祭いけばな展が同時開催で九月十一日から十四日までシンフォニア岩国で行われました。

およそ四年に一度の割合で、岩国市と山口県とのいけばな展が共催されます。県内各地からきらめく感動と安らぎを求め多くのお客様が来て下さいました。出瓶者も例年の倍の数で盛大な会となりました。

五百有余年の歴史をもつ華道、茶道の豊かな心「和の精神」を次の世代へ確実に継承するため、古きを学び新しきを探求しながら時代に沿った方向へと日々精進しております。

今回の文化祭開催につきましては、県市の各関係者の方々に多大なご協力を頂きました。

(柳澤静子 記)



平成21年度春の総合文化フェスティバル合同展示会より



# 栄えある受賞 おめでとうございます。

岩国市文化協会では、協会の発展や岩国市の文化振興に功績のあった方々を表彰しています。平成21年11月3日(祝)に岩国国際観光ホテルに於て表彰式と祝賀会が開催されました。



## ●岩国市文化協会表彰●

### 久能賞

堀 豊輝 (ほり ほうき)

岩国小原流会代表、岩国市華道連盟の副会長として重責を果たされ、華道を通じて岩国地域の文化の振興発展に大きく貢献されました。

安村 壽夫 (やすむら ひさお)

国指定重要無形民俗文化財「岩国行波の神舞」の神楽団長、保存会副会長、会

長を歴任し、現在は顧問として後継者育成に努めておられます。

### 文化功労賞

奥山 芳春 (おくやま ほうしゅん)

岩国書道協会の役員として、各種展示会の開催に積極的に携われ、書道文化の普及に尽力し、大きく貢献されました。

金 広章 (かねひろ あきら)

岩国喜謡会の役員として会の運営や発展に尽力され、後進の指導にも積極的に取り組むなど、能楽文化の発展に大きく貢献されました。

吉川 宗富 (きつかわ そうふ)

表千家同門会岩国地区発足時より会の発展に尽力され、市内各種のお茶会や各種イベントに携わるなど、茶道文化の発展に大きく貢献されました。

佐々木 千里 (ささき ちさと)

華道家元池坊副支部長として、会の運営、後進の指導に尽力され、また数々の大会に出瓶されるなど華道文化の発展に大きく貢献されました。

檜原 富美枝 (ひばら ふみえ)

岩国市初めてのママさんコーラス『コーラス錦』を創立され、会の発展に尽された。山口県合唱連盟理事としても活躍されるなど、合唱文化の発展に大きく貢献されました。

藤間 勘津代 (ふじま かんつよ)

藤間流藤津会を設立、会の発展や後進の指導に尽力され、また多くの大舞台に積極的な出演されるなど、邦舞文化の振興、発展に大きく貢献されました。

米光 駿風 (よねみつ しゅんぷう)

光風流山陽吟詠会の発展に尽力される傍ら、市内の各種文化事業に、まとめ役として積極的に携わり、吟剣詩舞道の普及、発展に大きく貢献されました。

### 欧風刺繍麦の会

(おうふうししゅうむぎのかい)

発足以来三十年間、二年ごとに作品展示会を開催され、様々な催し物にも積極的に作品を発表されるなど、文化の振興発展に大きく貢献されました。

筑紫琴鳳会 (ちくしきんおうかい)

発足から四十六年、流派を超えた演奏発表会や、県内、外での公演、海外公演などを実施され、青少年の育成にも力を入れるなど、文化の振興発展に大きく貢献されました。

### 文化奨励賞

長 歌津春 (ちよう かつはる)

生田流正派若樹会の役員であり、また大規模な演奏会や介護施設での演奏等幅広い活動をされ、邦楽の分野において、今後の活躍が多いに期待されます。

藤間 寿三豊 (ふじま すみとよ)

藤間流藤満会の理事を務め、市内各種行事の参加や運営をされ、県内外の舞台にも出演されるなど邦舞の分野において、今後の活躍が大いに期待されます。

正重 雅楽美世 (まさしげ うたみよ)

生田流正派桐朋会の副会長として、熱心に後進の育成をされ、また市内各種邦楽演奏会や県外の演奏会に出演するなど邦楽の分野において、今後の活躍が大いに期待されます。

森島 広子 (もりしま ひろこ)

コーラスでの指揮、指導に携わり、「第九ひろしま」で毎年ソプラノリストを務めるなど、声楽を中心に音楽の分野において、今後の活躍が大いに期待されます。

岩国川柳会 (いわくにせんりゅうかい)

発足以来、毎月一回の定例会を開催し、句会報、記念句集を発行するなど大変活発な活動をされ、川柳の分野において今後の活躍が大いに期待されます。

## ●岩国市教育委員会表彰●

(岩国市文化協会関係者)

### 文化功労賞

廣重 光風 (ひろしげ こうふう)

光風流山陽吟詠会の会長として多数の指導者や弟子を育成され、また全国コンクールにて優秀な成績を収められるなど、詩吟を通じて地域文化の発展に大きく貢献されました。

藤間 勘三津 (ふじま かんみつ)

藤間流藤満会会長、岩国邦舞協会会長として、多くの舞台を成功に導く傍ら、優れた舞踊家として活躍されています。また多くの弟子を育成されるなど、地域文化の振興、発展に大きく貢献されました。

保田 正子 (やすだ まさこ)

宇野千代顕彰会発足当初から、会長として様々な講演会や展示会の開催に尽力してこられました。多彩な顕彰活動を展開され、地域文化の振興、発展に大きく貢献されました。

(敬称略)



# 団体紹介

## 吟剣詩舞部門

### 光風流山陽吟詠会(岩国地域連合会)



私達は、なごやかな楽しい雰囲気の中で、腹式呼吸を身につけ、美しい魅力的な声、豊かな声量づくりを目指すと共に、先賢の漢詩や和歌を通じて、時代を超えた風俗、人情、人生観等幅広い知識を修得し、心豊かな生活を送ることを願っております。

おります。  
当会本部は、昭和四十四年結成以来、毎年会員全員参加による「光風流大会」、山口県東部地域における「審査発表会」や「吟詠大会」等を開催しております。  
また、岩国地区吟剣詩舞道大会をはじめ、山口県大会、全国大会にも参加しており、更に山口県総連、各レコード会社主催のコンクール大会に出場し、全国優勝者、上位入賞者を数多く輩出しております。  
伝統文化の継承を図るため、現在、幼稚園児や小・中学生等を多数指導しております。

(米光駿風記)

## 洋舞部門

### 岩国ソシアルダンス研究会

私たち「岩国ソシアルダンス研究会」の発足は、二十五年前に、会長の岩部先生が設立された「城山SDクラブ」に始まります。当時、中央公民館において、岩国で初めてのソシアルダンス団体としてスタートしました。初年度から、発表会としてのクリスマスパーティーを開き、現在まで毎年開催しております。

美しく踊ることをモットーに、英国風のダンスを踊ることを目標に、日々練習に励んで参りました。岩国市洋舞連盟の一員として岩国市民文化祭「洋舞フェスティバル」にも毎年出演しています。

これからも健康で文化的な日々を送れることに感謝し、岩国地域の文化の振興と発展のため、微力ながら努めていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

(北川年明記)



## その他部門

### 岩国藩鉄砲隊保存会

当会は、昭和六十二年四月発足以来この春で二十三年目を迎えます。地元での演武は、錦帯橋下河原での新年元旦の初撃ちや錦帯橋まつりです。



一昨年は鉄砲伝来の地種子島で競演、昨年は九月に熊本県芦北町で全国火縄銃サミットが開催され、各地から鉄砲隊二十五団体二百十名が集いました。また、十月には北広島町の吉川戦国まつり、十一月には堺まつり、萩時代まつりなどに参加しました。毎年各地に招かれ、演武を披露すると共に歴史の町岩国をPRしております。

全国の保存会の中でも二十人を越える射手が居るのは当会だけで、集団美と規律正しい演武にお褒めの声を頂きます。

(村河多丸記)

## その他部門

### 宇野千代顕彰会

当会は岩国出身の作家「宇野千代」の功績を後世に残し、地方文化の発展に生かしていくために、没後一年の平成九年八月に発足いたしました。現在イベントや勉強会を通して、幅広く楽しく活動しています。当初の目標の一つ「宇野千代記念館」の建設推進運動はいろいろな事情から残念ながら頓挫いたしました。それにもめげず、その時々々のタイムリーなイベント企画や、地道な研究活動を基軸に、仲間の輪を広げて参りました。

《主な年間行事》

三月 淡墨の桜を愛でる会  
六月 薄桜忌(六月十日)、総会  
八月十月 宇野千代読書感想文コンクール(今年は第十二回)  
十一月 生誕記念・もみじ茶会  
月例会(ミーティングと勉強会)など。

また、宇野千代ゆかりの場所へのツアーも数度実施しています。いま、新しい仲間を募つていきます。会員一同心よりお待ちしております。

(安達尚子記)





## 協会紹介（俳句部門）

### 《岩国俳句協会》



平成二十一年一月十五日、岩国俳句協会総会がビジネスホテルで開催され、今年度の活動方針が審議され決定されました。三月、錦帯橋を世界遺産にする会の主催による第一回錦帯橋俳句大会が開催され、当

会としては協賛、選者として協力しました。四月、美川大水車まつりが開催され、伝統的文化財への関心を高めるため広く市民や一般から募集し、美川の文化の向上並びに観光振興に資することを目的とした俳句大会が開催され、多くの応募がありました。十月、岩国俳句協会合同句集十一集を発刊。十月二十五日、第五十三回岩国俳句大会が愛宕供用会館で開催されました。一般学生児童を含めて、昨年度四三三句を上回る六二〇句の応募があり、更に会員の裾野拡大に努めることを申し合わせました。

十一月十五日、第四十六回山口県俳句大会が周防大島橋総合センターで開催され、多くの方が参加されました。

（浜村瑞穂 記）

## 文化協会行事報告（平成21年度）

|       |        |                           |
|-------|--------|---------------------------|
| 平成21年 | 5月2日   | 第一回事業委員会                  |
|       | 5月9日   | 第一回理事会                    |
|       | 5月24日  | 代議員会                      |
|       | 5月30日  | 春の総合文化フェスティバル             |
|       | 6月31日  |                           |
|       | 6月9日   | 山口県文化連盟総会出席               |
|       | 7月12日  | 市民文化祭総合開会式                |
|       | 7月20日  | 第一回企画委員会                  |
|       |        | 第二回事業委員会                  |
|       | 8月2日   | 第二回理事会                    |
|       | 8月20日  | 久能賞選考委員会                  |
|       | 11月3日  | 岩国市文化協会文化功労賞等<br>表彰式典・祝賀会 |
|       | 11月24日 | 第一回編集委員会                  |
|       | 11月13日 | 本郷公演                      |
|       | 12月20日 | 第三回理事会                    |
| 平成22年 |        |                           |
| 1月12日 |        | 第二回編集委員会                  |
| 2月2日  |        | 第三回編集委員会                  |
| 2月23日 |        | 第四回編集委員会                  |

## 新・岩国百景



竜尾の滝・寂地峡

写真・久村展康

## 文化協会役員紹介（平成21年度）

|      |       |
|------|-------|
| 顧問   | 福田 良彦 |
| 名誉会長 | 佐々生君子 |
| 会長   | 藤谷 光信 |
| 副会長  | 岩見屋 健 |
| 理事長  | 元島 祥次 |
| 常務理事 | 村岡 一男 |
| 理事   | 藤永 具視 |
|      | 石川 善久 |
|      | 井原多佳子 |
|      | 岩岡 輝吉 |
|      | 江村 恒子 |
|      | 小國 正巳 |
|      | 二宮 信子 |
|      | 近藤 順子 |
|      | 田村 順玄 |
|      | 篠原 芳弘 |
|      | 中村 源治 |
|      | 浜村 瑞穂 |
|      | 藤間勘三津 |
|      | 藤本秀規  |
|      | 野村 徑世 |
|      | 宮崎 裕美 |
|      | 宮本歌千穂 |
|      | 森脇 子雄 |
|      | 山下 好雄 |
|      | 米光 駿風 |
|      | 賀屋 宏昌 |
|      | 堀 豊輝  |

（平成二十二年三月一日現在）

## 編集後記

岩国の文化水準は、思いのほか高いのではないだろうか。

第二十一回国民文化祭では、岩国から二人の文部科学大臣賞、日本一を輩出した。短歌部門の片原政子さんと押花部門の村本敏子さんです。

今回の表紙・写真の押花絵は、村本さんの創作品です。季節に合わせて自分で育てた新鮮な花を丹念に紡いで、根気よく構成した立体フラワーなのです。

異色のある活動をしている団体も多いようです。今回紹介した江戸時代を復元した岩国藩鉄砲隊、読書感想文コンクールを毎年全国募集している宇野千代顕彰会、既号で紹介したミュージカル・フアクトリー・クライマックスや香道など。

今回の市民文化祭の記事に登場している合唱、邦楽、茶道、華道も毎年成果を上げています。

いま、「岩国文化都市宣言」を発する時期かもしれません。

さらに、勝手な願望ですが、「岩国」を舞台にした文学、演劇、音楽などが創作できないでしょうか。それが全国ネットのテレビに放映されれば、岩国文化の知名度は高まり、文化水準の向上に拍車がかかります。

どなたか、挑戦されませんか。

以上のほか、文化協会の地区公演事業として、本郷町で岩国ソシアルダンス研究会と岩国ジャズダンス同好会のダンスが演じられ、好評を博しました。

また、春の総合文化フェスティバル開催、入門セミナーの会員募集など昨年同様実施いたしました。

団体紹介では、前記二団体のほか、光風流山陽吟詠会、岩国ソシアルダンス研究会を掲載しました。

それぞれ、各団体の暖かいご協力をいただき、感謝しております。

今後とも本「会報」へのご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、会報の編集や記事に関し、皆様方から忌憚のないご意見・ご感想をいただきたいと存じます。ご投稿をお待ちしております。

（編集委員Ⅱ久村・吉村・武重・元島）